平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ４２ ※記入不要	提案機関名	湘南地域農業改良普及センター

要望問題
夏芽母枝型ハウスみかんの安定生産技術の開発

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

○背景
ハウスみかんは、湘南みかん産地の基幹作物であり、地域の中核的農業者、若手農業者が意欲栽培に取り組んでいる。
このところハウスみかんの価格が年々低下していることなどから、６月出荷等の早期出荷による高単価を狙った安定栽培の技術確立が望まれる。
夏芽母枝型ハウスみかんにおいて秋芽の発生は、花芽分化を妨げることなどから加温時期の遅延や加温後の着花量の減少につながる。
現在、秋根抑制目的に登録されている植調剤はフィガロン乳剤があり、その作用や樹体に及ぼす影響が他県でも研究されているが、技術的には不確実な点や弊害がまだ多く、細根発生を抑制し樹勢低下を招くことや、散布時期、濃度により加温時の不発芽や着花不足を招くことが心配されている。

○内容
夏芽母枝型ハウスでの７月剪定、１１月中下旬加温の栽培体系を維持できる栽培技術の研究
・着花量安定、樹勢低下防止を前提としたフィガロンの効果的な利用法の研究
・フィガロンに替わる秋芽抑制技術の開発研究
・的確な加温時期を把握するための着花確認手法の開発研究
・樹勢維持のための省力的な土づくりや施肥体系の研究

○対象地域
・平塚市、大磯町、二宮町、秦野市　栽培面積４６３７０㎡　生産者１７名

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	根府川試験場
部　　署：	
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）
かながわ型高収益ハウスミカンの確立に向けた樹体栄養診断による着花量予測法の開発

対応の内容等
ハウスミカンでは、着花量と新梢発生量のバランスをとることが重要であり、そのためにも着花量を事前に予測する必要があります。標記課題は、樹体内成分（デンプン、無機成分）から着花量を予測しようとするものであり、現在試験（重点基礎）を開始したところです。後期加温型については場内、早期加温型については現地試験を予定しています。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	